

# 公立久米島病院だより



## 高齢者の健康シリーズ⑩

—— 排尿の障害 ——  
病院長 深谷 幸雄

それでは排尿障害に入ります。排尿障害には尿が出にくい状態と出なくていい時に出てしまう状態があります。今回は尿が出にくい状態Ⅱ尿閉についてお話ししましょう。代表的なものが高齢者の男性に多い前立腺肥大症です。前立腺は膀胱から尿道が出ている部分にあり、尿道を包み込んでいます。前立腺が肥大すると、内側にも肥大して尿道を狭くしてしまふのです。この病気は70代の男性でおよそ12%の方が持っています。排尿症状、残尿、前立腺の肥大で診断されます。排尿症状とは①尿勢低下 ②尿線途絶 ③腹圧排尿 ④開始遅延 ⑤終末尿滴下 などの症状を言います。残尿とは排尿が終わった時点でもまだ膀胱に多くの尿が残っている状態です。ですから少し尿が膀胱内に追加されるだけで尿意が出てきますから、いわゆる頻尿という症状となります。治療としてはまず飲み薬で対処します。飲み薬でも改善されない場合は肥大の程度などによって内視鏡で前立腺を削る手術を選択する場合があります。前立腺肥大の中に前立腺癌が潜んでいる場合があります。もちろんこの場合は前立腺癌の治療となりますから内服薬やその他の治療法も変わってきます。前立腺肥大以外の原因で尿が出にくくなる病気に神経因性膀胱というのがあります。膀胱の



# 風の帰る森林

定期便り



第12号

今月の担当  
久米クリエーション  
渡辺 信介

風の帰る森林施設の詳細設計が始まりました。今回はコンセプトの報告です。



風の帰る森林イメージパース/作成 久米クリエーション

東日本大震災にあった福島の子、そして久米島の子も達が島の風と土と水に触れ全身で安心して自然を感じることができる場所づくりとして風の帰る森プロジェクトは進行中です。PJは現在施設本体の詳細設計段階です。今回はプロジェクトのコンセプトを紹介します。

(※コンセプト紹介文は島外向けの案内文からの転用です)

### 1. 風の帰る森のはじまり

「沖繩・球美の里」という震災にあった福島の子も達を保養するための施設が久米島にあります。この球美の里の支援者の友人にあたる陶芸家の堀野富洋氏が久米島を訪れ島に吹く独特な風に出会ったことがプロジェクトのはじまりです。



久米島 銭田森林公園

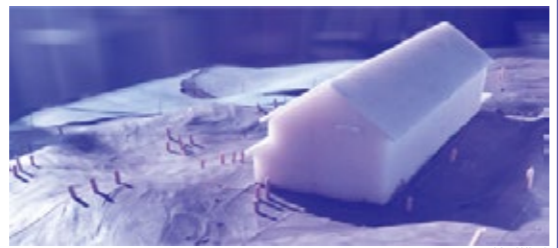
久米島は沖繩本島から西へ100kmに位置する人口約8千人の島で、「風の帰る森」は島の南東部に位置する「銭田森林公園」が計画地です。銭田森林公園は、青い海が眼下に広がり、スハラを背負った久米島のなかでもひととき豊かな環境の場所です。

### 2. 風の帰る森が目指すランドスケープ（風景）

子ども達が自然の中で夢になって遊ぶことができる場所。コンクリートやプラスチックなどの人工物は極力なく、屋外の遊び場の地面には起伏がある。子ども達はいつの間にかすべての感覚を使って身体を動かし時間を忘れて遊ぶ場所。そんな風景を目指します。

### 3. 風の帰る森の施設概要

「風の帰る森」は宿泊・児童館・学童・図書館の4つの機能を備えた延床面積約1千m<sup>2</sup>の施設本館を中心に銭田森林公園の自然の中で感性を磨く体験ができる場所です。2017年秋のオープンを目指し計画中です。



模型イメージ

久米島と福島の子も達と一緒に遊べる場所であり、旅行で久米島を訪れた子ども達も遊びに来る場所です。

### 4. 風の帰る森に込める想い

「風の帰る森」という名前には、自然に対する畏敬の念が込められています。土地は今を生きる人のものではなく数代先の人のものです。久米島は良い風が吹く島です。育っていく子ども達の記憶に残り、大人になって心の中で帰ることができる場所でありたい。そんな想いが込められています。

お問合せ プロジェクト推進室 ☎098-985-7141

# 学習のつまづきの背景にあるもの

（発達障がいを知ろうシリーズ⑬） 小児科医 渡邊 幸

学習につまずきがあったらみんな学習障がい（LD）というわけではありませんが、子どもが学習につまずく場合には以下のような背景が考えられ、その原因によって対策は異なるため、まずは原因をはっきりさせることが大切です。

①注意・集中の問題・物事を学んで行く上で、先生の話などに注意を向け続けることや、課題に集中して取り組むことは非常に大切な能力です。この力が弱いと、授業中にぼーっとする、テストで設問を読み間違えたり簡単な計算ミスをする、など多くの場面で学習に影響します。ADHD（注意欠陥多動性障がい）やASD（自閉症スペクトラム）ではこの注意集中に問題がある事が多く、学習習得の大きな妨げとなります。

②学ぶ意欲・姿勢の問題・苦手な事（教科）に取り組む事や繰り返し漢字練習などを行うことは努力を要する事です。また、嫌な事があっても気持ちよく切り替えて学習に取り組むこと、人からの誤りの指摘を受け入れること、などは物事を学ぶための基本の姿勢といえ、多くの子にとってこれらの力は無意識に身に付いているものです。ですがADHDやASDの児ではその特性により、これらの事がうまくできずに学習の取り組みを阻んでしまいます。

③協調運動（微細運動+粗大運動）の問題・文字を書くという動作は実は非常に難しいです。発達障がいがある児は、学習につまずきが見られる場合、まずはこれらの問題が隠れていないかどうかをチェックしてみましょう。それぞれの対策については次回お話しします。

（久米島町の発達障がい相談窓口）  
親子支援事業：役場福祉課（担当新垣）  
☎985-17124  
小児科外来：公立久米島病院小児科（担当渡邊） 火曜・金曜の午後

④視覚機能の問題・眼の機能は視力だけでなく、両眼でみる力、動いているものを捉える力、焦点を合わせる力などが合わさっており、学習において大きな役割を担っています。この視覚機能に問題があると、音読の際に読み飛ばしや読み間違いが多い、板書が苦手、キヤッチボールが苦手などの困難さを生じます。LDやASDの児で問題となることが多いです。

# 農業委員会だより

農業委員会総会（許認可業務の審議会）が開催されました。  
町農業委員会では、8月25日仲里庁舎において、平成28年度第5回農業委員会総会を開催し、農業者等からの申請のありました案件に審議しました。

①農地法第3条の規定による許可申請→1件  
審議のうえ許可されました。

許可申請書及び届出書等の申請締め切り日 —— 10月17日(月)

## 農地売ります

農地の売却希望がありますので、お求めの方は農業委員会までご連絡下さい

- 久米島町宇根シルカイラ原 4筆
- 久米島町宇謝名堂南兼久原 1筆

お問合せ 農業委員会 ☎985-7134